

10月23日 3年生の国語科研究授業

10月23日（金）、3年1組で国語科研究授業が行われました。

「説明のしかたをくふうして『食べ物リーフレットを』と作ろう」という単元で、「すがたをかえる大豆」という教材をもとに、筆者の文の書き方の工夫について読み取りを進めていきました。



子供たちは、学習のゴールとして設定された「自分で食べ物を選び、調べたことを『食べ物のみみつリーフレット』にわかりやすくまとめるために、「すがたをかえる大豆」という文章で筆者の書き方の工夫を意欲的に見付けていました。「伝えたいこと」を読み手にわかりやすく伝えるために、段落というまとまりの必要性や説明の順序、写真や絵の活用が大事であることに気付きました。そして、読み取った工夫を生かし、「食べ物のみみつリーフレット」を作成しました。

この学習を通して、子供たちは、伝えたいことを読み手にわかりやすく伝えるための文章の書き方の工夫を学びました。また、学習中でのグループ交流を通して、友達の考えのよさや自分の考えの広がりを実感していました。また、作成したリーフレットは、4年生に読んでもらい、4年生から読んだ感想をもらいました。このことは、学習に対する意欲につながるとともに、異学年から認めもらえる機会となりました。そのことが、一人一人の自信となり、自己有用感を高めることにつながっていくと思います。